

「ラキムラとめぐる！仙台城下町ボヤージュ [2021年4月6日放送分・穀町／畠屋町]

毎月第1火曜日に放送しています。歴史家で街歩きの達人・ラキムラこと木村浩二さんと、旧城下町に88本ある石柱=辻標から歴史の痕跡を探る旅です。街歩きのお供には、仙台市役所1階の市政情報センターなどで販売中の冊子、その名もズバリ「辻標」が便利です。88本ある辻標の場所や周辺の歴史が、写真とともに分かりやすく解説されています。放送とあわせてお楽しみください！

- 今月から、このコーナーが別番組にお引越し。「GoGoはみみこい ラジオな気分」で15時台から放送します。放送日は変わらず、毎月第1火曜日です。引き続きご愛顧のほど、宜しくお願ひ致します。
- さて。私と木村さんは、荒町商店街を抜けて南へ曲がり、奥州街道を江戸へ向かう旅人となっています。穀類の販売権を与えられた栄えた穀町では、不思議な道路に遭遇。ファミリーマートの前の道が、不自然な鉤型に曲がっています。このランクは一体？
- 実は、城下町にはよく見られる防衛のための造りだそうで、敵軍がまっすぐ進撃できないようにしているのです。という事は…仮想敵は江戸より来たる！でしょうか？
- 畠屋町は、その名のとおり畠刺職人が住んでいた町です。今となってはその面影は見るべくもなく、マンションやアパートが立ち並ぶ住宅街の向こうに新幹線の高架橋が見えるのみとなっています。
- <文・佐々木淳吾>